

## 第4回町政モニター会議 懇談内容

日時：令和2年2月26日（水）午前10時～11時55分

会場：役場庁舎4階 第3・4委員会室

### 「災害時の備えについて」

**モニター**：災害時の停電対策として発電機があると良い。各避難所に備えられていると良い長引く停電が起きた場合の対策は考えられているか。

**町（予防防災課）**：町内の6小学校、3中学校、1高校の敷地内にある防災備蓄倉庫へ備蓄しており、停電対策として発電機も配置し、発電機を稼働させるための燃料についても、ガソリン缶詰として備蓄している。

**町（防災安全課）**：災害時の大規模停電に対しては、電力会社に早期復旧を要請するとともに、被害や復旧に関する情報の共有及び発信について、連携していく。昨年、台風19号では深溝方面で停電が発生した。毎年、防災安全課の職員が中部電力を訪問し、打合せ、確認を実施している。また、中部電力ではドローンを活用した被害調査を始めている。今後、活用について調整していく。

広範囲に渡る大規模災害では、復旧までに相当の時間を要する。そのためにも、各家庭では、懐中電灯、携帯ラジオなど、必要な備蓄品に合わせ、乾電池も事前に準備してください。地区防災訓練でも啓発を実施している。

なお、災害時に拠点となる役場庁舎及び消防署では電力確保のため、自家発電機と太陽光発電を設置している。

**モニター**：自家発電の備えがあると聞いて少し安心した。個人的にも色々な備えをしておかないといけないと思う。

**町長**：長期に渡ると問題が発生してくる。総務省の基準は3日間であるが現在7日間に延長されたので、さらなる備えをしていきたい。

### 「消防団について」

**モニター**：幸田町の消防団募集について、大草区の消防団員の後任選び、成り手不足の問題があると聞いている。現在のところ、各区の自助努力で解決する事になっているようだが、大草区ではここ数年、有効な手立てを打てず、放っておくと強制的な人選、或いは、何もせず自然消滅する恐れもあると思われる。

この解決には、町のリードが必要で、少なくとも下記のような改善策を町政リードで推進して欲しい。現在の町の認識と具体的な改善策等を聞かせてほしい。

#### (1) 団員募集方法の改善

中学高校生世代からの消防団募集の理解活動展開

(2) 団員の手当ての増額

(3) 各種のインセンティブ改善

例えば、団員を含む世帯の町内会役職免除、町内の有料施設の無料利用、ケーブルテレビ無料開放

**町（消防本部庶務課）：**現在、町内には4つの分団があり、消防車両8台、147人の団員で構成されている。任期はないが毎年30人前後の入れ替えがあり、勤続年数は5年程度である。

消防団員は全国的に減少しつづけている。幸田町は147人の定数を維持しており区長様、消防団員のご尽力によるものと考えている。消防団員確保につきましては昨年度から、消防団長OBや区長との意見交換会を実施した。意見交換会の中で、小中学校からの意識づけが大事だご意見をいただいている。来年度は消防団の重要性、必要性を理解し将来の消防団員確保のための消防PR動画を制作し、広報活動し周知していく検討をしている。

消防団員に対して町としては年報償、機械器具整備、訓練、出動に対する費用弁償、2年以上勤務した団員に対して退職報償金が支給され平成31年度、令和元年度に条例改正により見直しを図っている。年額報償費は県内54市町村で一番多い。

消防団協力事業所、消防団員応援事業協賛店（全国で約5,000店が加盟）の加入促進、消防団員家族慰労、姉妹都市である島原市への幸田町消防団員等派遣事業など実施している。今後も様々な方の意見を聞き消防団員確保に努めていく。

**モニター：**昨年、地元で切れ長をやっていた時に、消防団になってもらえる方がなかなか見つからなかった。優遇制度等、町民に知られていないと思うのでPRしてもらいたい。また、消防団が地元の先輩後輩の関係の中で引き継いでいけるようになるとよい。若い年代へのPRは良いことだと思う。

**町（消防本部庶務課）：**積極的にPRしていきたい。大地震に備えて共助・互助が必要になってくる。消防団の存在意義をアピールしていきたい。地元の方にもご協力をお願いしたい。

**町長：**何が起きるか分からない災害時に互助組織は必要である。新しい団員勧誘、消防団活動のよさを若い人たちに啓発していく。女性消防団員3名が第2分団に入団予定、また女性消防職員も1名採用の予定である。消防団OBやその家族にも意見をもらいながら改善策を検討していく。

## 「交通安全について」

**モニター：**野場交差点において、永野方面からは、車のすれ違いが出来ない程道幅が狭く青信号の時間も短いため、信号の変わり目に突っ込んでくる車があり、いつ事故が起きてもおかしくない状態である。

交差点の角にある電柱の移設については、野場区で検討したが、反対意見があり中止になった。道路拡張を検討できないか。

**町（防災安全課）：**信号の時間間隔について、岡崎警察署と協議したところ、交通量を基に

判断すると、現在の時間間隔でご理解いただきたいとの見解であった。

町としては、交通安全運動や安全パトロールによる啓発を実施している。また永野方面からの進入路には、通学路につき通り抜けご遠慮くださいとの看板を設置している。

**町（土木課）：**道路の拡幅につきましては、地権者様の協力が必要となる。地元区長と相談しながら検討します。

**町（企画部長）：**県道から町道に変更されている道路である。電柱の移設、道路の拡幅について、地元区長さんと相談していきたい。

**モニター：**入口が狭くて、すれ違いができないため、道路の拡幅が難しいようであれば、もう少し信号の間隔が長いと良いと思う。最近、事故が起きたようで、事故目撃者の案内看板が立っている。実際に事故が起きている。

道路の拡幅について、お店側は難しいようなので、お店の反対側は空き地のようにしているので、そちら側を広げることはできないか。

**町長：**警察協議、用地交渉等取り組みを強化していく

## 「危険箇所について」

**モニター：**野場北部地内の広域農道（須美一坂崎）と赤川の交わる地点において、鉄網フェンス付きの大きな凹地あり（幅 3m×深さ 2m 程）。落下防止無し。対応出来ないか。

**町（土木課・水道課）：**愛知県が管理する河川及び水道の用地と思われます。県に対策を要望していきます。

**町（企画部長）：**河川管理は愛知県の西三河建設事務所維持管理課である。水道管も県の管理。土木課から県に対策をお願いしている。

**モニター：**昨年の12月に町の水道管の更新工事が始まってから車が3回落ちている。また子どもが落ちて危険である。なるべく早く対応してもらえるように町から県に要望してもらいたい。

## 「目標設定について」

**モニター：**町政モニター会議の議題に対し、目標を設けてはどうか。目標とは「何に対し」「いつまでに」「どのレベルにする」と具体的に示すことで、目標達成するための手段を意見交換できるようになる。現在の目標がない状態で意見を出しても、町政モニターの方の個人的意見、主観となり、その意見に対し、現状のルールで「できる」「できない」という回答となっていると感じた。

目標設定することで、現状のルールでは出来ないことでも目標達成するために、場合によっては条例や法律を変えてでも出された意見に対し活動を進めることができる。次年度からでも良いので目標設定を検討してほしい。目標がない状態での意見の収集、懇談は「町民から意見を聞いている」という町のパフォーマンスになっているように感じ

た。

**町（企画政策課）：**町政モニター会議の議題に対し、テーマを「産業・建設」「教育・福祉」「総務・防災」とテーマに分けて意見交換をしています。町民として自由な立場で町に対する率直な意見、要望などを伝えていただく会議と位置付けている。ご意見いただいた内容について、目標設定をするようなことも考えていきたい。

**モニター：**目標値がないと良い悪いの判断ができないので、設けたらどうかという提案である。町の具体的な取り組み等の PR や、それに対する意見を出し合う等の方法を取ると、より活発な意見が出るのではないかと思う。

**町長：**近隣との比較や、テーマを絞った議論など、今度のモニター会議の運営方法について検討していく

## 「マスクの備蓄について」

**モニター：**マスクの品不足が話題となっている。名古屋市が老人施設に配布した等のニュースもあった。子ども会の会長をやっており、先日の子ども会大会で自宅にあった子ども用のマスクを配布した。町としてマスクの備蓄をしているのか。また備蓄があるのであれば、必要としている場で配布してほしい。

**町長：**急ぎ手配しようとしたが、マスク入手が困難な状況である。

**町（消防本部予防防災課）：**マスクの備蓄はしていない状況。避難所においてもウイルスが蔓延するような状況があれば、マスクも必要になってくる。現在、業者に発注している状態である。

**町（防災安全課）：**避難所運営にも影響してくる問題なので、早急に考えたい。

**町長：**業務用のマスクについては在庫があるが、大きな会場でのイベントで配布する分は備蓄していない。

## 「消防団員の勧誘について」

**モニター：**消防団の勧誘が大変である。本人の親から断られてしまう状況である。入るときに PR できるメリットや、勧誘時に団員以外にも地元の方に一緒に行ってもらえるように町からも区に対して後押ししてほしい。5年任期となっているが、後任が見つからずに残留になってしまう団員がいる。団員の定数についても、検討が必要ではないかとも思う。ただ、今後、発生が懸念される南海トラフ地震に備える意味でも消防団は必要だと思うので対策が必要である。

**町長：**お役を受けたくない気持ちはよく分かる。しかし、消防団員の定数はなんとか確保したい。消防団の団員、女性の会の会員の確保を区長さんたちに話したい。学区のコミュニティへの補助金60万円を40万円増額して100万円にすることをやってみたい。学区単位でコミュニティの課題、消防団員、女性の会、老人クラブ等の維持など、地域の課

題に取り組むことへの補助として出したいと考えている。

**モニター**：若い世代の人たちは自分の時間を大事にしたいという考えの人が多。消防団に入りたくなくて、町外に出ていってしまう人がいる。消防団加入をアピールすることが逆効果の場合もあるように思う。

消防団員を受けることで、地元の他の役が免除になるようなインセンティブは有効だと思。団員の確保には地元企業への協力依頼も必要だと思。

**町長**：消防団の映画を作り、活動への理解を広めたい。

## 「引きこもり対策について」

**モニター**：学校に行けない子どもたちが増えているように思うが、引きこもりの子どもたちへのケアはどうなっているのか。

**町（学校教育課）**：校内いじめ不登校対策委員会の定期開催やスクールカウンセラー（臨床心理士）による相談等を行っている。また、不登校の子どもが、再び登校できるようなステップとして、教育相談室内に適応指導教室を設けている。それから、幸田町いじめ不登校対策協議会を開催して、原因の究明や効果的な対応の分析などを実施している。

## 「新型コロナウイルス対策について」

**モニター**：新型コロナウイルス発生した場合の対応はどのような想定をしているか。

**町長**：藤田医科大学岡崎医療センターでの受け入れが決まり、危機感を高め、部内会議で検討を始めた。その後、災害対策本部を設置した。備蓄など備えが不十分であった。また対応が遅かった。情報発信をしっかりとしていく。

**モニター**：防災無線で状況を伝えると町民も安心するのではないか

**町長**：防災無線、ホームページに加えて、若い人たちに向けて、SNSでの情報発信も考えていきたい。

## そのほか

**モニター**：荻谷小学校体育館で何年か前に屋根の工事をしたが、その後、雨漏りするようになったと聞いている。対応はどうなっているのか

**町（学校教育課）**：各学校で修繕が必要な時期が来ている。計画を立てて順番に取り組んでいく予定をしている。

**町長**：今年度、豊坂小学校が完了し、来年度、中央小学校を予定している。荻谷小学校体育館の雨漏りについても、早く改善できるようにしたい。